

長岡市生ごみバイオガス化事業における

民間事業者の選定に関する客観的な評価の結果について

平成 22 年 12 月

新潟県 長岡市

民間資金等の活用に関する公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成11年法律第117号、最終改正：平成19年法律第85号）第8条の規定により、長岡市生ごみバイオガス化事業に係る民間事業者の選定に関する客観的な評価結果をここに公表する。

平成 22 年 12 月

長岡市長 森 民夫

## 1 事業概要

### (1) 事業名称

長岡市生ごみバイオガス化事業

### (2) 対象となる公共施設等の種類

①対象施設	生ごみバイオガス化施設
②立地場所	長岡市寿3丁目6-1「長岡市環境衛生センター」敷地内
③施設規模等	65 t / 日（発酵対象 55 t / 日）
④処理対象物	a 家庭系生ごみ：家庭から発生する厨芥類等を分別収集した生ごみ b 事業系生ごみ：市内の事業所から分別収集した生ごみ

### (3) 事業方式

本事業は、PFI法に基づき、PFI事業者が本施設を整備した後、施設所有権を市へ移転し施設設置届出がなされた上で、事業期間にわたり運営・維持管理を実施するBT0方式とする。

### (4) 事業スケジュール

①設計・建設期間：平成23年4月～平成25年6月（試運転期間を含む）

②所有権移転期限：平成25年6月末日

③運営・維持管理期間：平成25年7月～平成40年6月（15年間）

※生ごみの分別収集開始は、平成25年4月を予定している。

### (5) 予定価格(税抜)

¥5,352,250,000円

## 2 選定委員会の開催過程

本事業におけるこれまでの長岡市生ごみバイオガス化事業 PFI 事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）の開催状況及び審議内容は、次のとおりである。

表1 選定委員会の開催状況及び審議内容

	開催日	主な内容
第1回	平成21年 7月13日（月）	総合評価一般競争入札方式の決定、実施方針（案）及び要求水準書（素案）の審議
第2回	平成21年 11月26日（木）	特定事業の選定、入札説明書等（入札説明書、要求水準書、落札者決定基準、評価基準項目）の審議

第3回	平成22年 2月26日(金)	入札説明書等(入札説明書、要求水準書、落札者決定基準)の審議・承認
第4回	平成22年 10月14日(木)	入札価格の確認、基礎審査、事業者提案等の内容審査
第5回	平成22年 10月25日(月)	事業者ヒアリング、事業者提案等の内容審査、総合評価・最優秀提案者の決定

### 3 事業者選定方法

本事業を実施する事業者の選定には、価格及びその他の条件が市に対して有利な提案を選定する総合評価一般競争入札を採用した。

### 4 参加資格審査結果

参加資格審査の申込は6者あり(以下「入札参加者」という。)、6者について参加資格審査を行った結果、全てが参加資格を満たしているものと認められた。なお、大林組グループが参加を辞退した。

#### Aグループ : 三井・大原・ダイエー

代表企業:三井造船株式会社

構成員:三井造船株式会社、株式会社大原鉄工所、ダイエープロビス株式会社

協力企業:大原電業株式会社、株式会社松田組、大和電機産業株式会社、

株式会社ナガオカサッシ工業、昱工業株式会社長岡支店、ツチダ塗装株式会社、トウヨウ株式会社、株式会社藤田内装建築、有限会社高橋合金工業所、株式会社たかだ、新水工業株式会社、株式会社ワシズ設計、緑水工業株式会社、近藤産業株式会社

#### Bグループ : 荏原

代表企業:荏原エンジニアリングサービス株式会社新潟営業所

構成員:荏原エンジニアリングサービス株式会社新潟営業所、

上越マテリアル株式会社、株式会社丸共

協力企業:株式会社日本容器工業長岡事業所

#### Cグループ : 神鋼環境ソリューション

代表企業:株式会社神鋼環境ソリューション

構成員:日本ヘルス工業株式会社、株式会社神鋼環境ソリューション

協力企業:緑水工業株式会社

**Dグループ：JFEエンジ・越後交通工業・オリジナル・JFE環境サービス・オリックス資源**

代表企業:JFE エンジニアリング株式会社

構成員:オリジナル設計株式会社新潟事務所、JFE エンジニアリング株式会社  
越後交通工業株式会社、JFE環境サービス株式会社、オリックス資源循環株式会社

**Eグループ：大林組**

代表企業:株式会社大林組北陸支店

構成員:テスコ株式会社長野支店、株式会社大林組北陸支店

協力企業:株式会社細貝建築事務所

**Fグループ：三菱化工機**

代表企業:三菱化工機株式会社

構成員:三菱化工機株式会社、株式会社エイト日本技術開発北関東支店  
三菱化工機株式会社、安藤建設株式会社新潟営業所、東京産業株式会社、  
化工機プラント環境エンジ株式会社

協力企業:緑水工業株式会社、株式会社大石組

## 5 落札者の決定

選定委員会において、入札参加者から提出された提案書について、基礎審査及び定量化審査を行った結果、表2のとおりの結果となった。市は、選定委員会からの答申に基づき、Dグループを落札者として決定した。

**表2 定量化審査結果**

入札参加グループ名	入札金額 (税抜)	価格評価点 (①)	内容評価点 (②)	総合評価点 (①+②)	総合評価点 順位
D:JFEエンジ・越後交通工業・オリジナル・JFE環境サービス・オリックス資源	4,477,800,334	60.0	26.5	86.5	1
A:三井・大原・ダイエー	5,300,000,000	51.7	33.1	84.8	2
B:荻原	4,575,000,000	59.1	23.6	82.7	3
F:三菱化工機	4,850,000,000	52.6	19.3	71.9	4
C:神鋼環境ソリューション	6,725,500,000	—	—	—	失格
E:大林組	—	—	—	—	辞退

## 落札者

D グループ : J F E エンジ・越後交通工業・オリジナル・J F E 環境サービス・オリックス資源

## 落札金額

¥ 4, 477, 800, 334 円 (消費税及び地方消費税を含まない。)

## V F M

31.2%

## 6 財政負担額の比較

本事業における市の財政負担額について、市が直接実施する場合と落札者が P F I で実施する場合とを比較した結果、以下のとおりとなった。

なお、平成 22 年 2 月 1 日に公表した特定事業の選定において算定された縮減率は、8%弱であった。

項 目		市負担額
市が直接実施する場合の負担額	A	3,945,819,000
落札者が PFI で実施する場合の負担額	B	2,716,175,000
財政負担縮減額	A-B	1,229,644,000
財政負担縮減率		31.2%

※数値は現在価値換算後(4%)のもの

### 「計算の条件」

- ・ 割引率等の基本条件は特定事業選定時の条件を適用
- ・ 交付金は市負担額計算の対象外
- ・ 建設工事費及び運営・維持管理費等は提案に基づく数値で計算
- ・ PFI 方式はモニタリング費やアドバイザー費等の独自費用も考慮
- ・ PFI 方式は提案に基づく市の発酵残渣販売収入を計上
- ・ PFI 方式は提案に基づく市の発酵残渣処分費用を計上
- ・ PFI 方式は提案に基づく市税収入を考慮

以上により、PFI で実施した場合、本事業は市が直接実施するよりも事業期間全体の現在価値換算で、31.2%の財政負担の縮減が見込まれることとなった。